

1990. 8. 09現在

ICC東京総会及び長野招致関係日程表

月日	時間	会 場	事 務	場 所	時 間	そ の 他 の 公 式 行 事
11日(火)						長野ルーム開設(～21) IOC会長来長(未定)
12日(水)						同国技館 天平 1F-B REAR SEATOURS
13日(木)	10:00	テバルトヘイト・オリンピック委員会				IOC会長来日 10:00 オリンピック・シンポジウム 16:00 IOC理事夫妻大相撲観戦 11:00 IOC会長に対する日本大学名誉学位授与式 12:30 立派補都府展示オープニング 13:00 IOC会長と理事夫妻 12:30 トップスホーンサン・昼食会 13:00 プレゼンテーションリハ・サル(アトランタ) 16:00 プレゼンテーションリハ・サル(アテナ)
14日(金)	15:00	IOC理事夫妻				白鳳 3F A-2.A-3 3F A-2.A-3 3F A-2.A-3 3F A-2.A-3
15日(土)	9:00	IOC理事会 文化委員会(昼食会)				同国技館 3F A-2.A-3 10:00 理事会プレゼンテーション 10分間 15:00 IOC総会閉会式 87名 20:00 IOC会長三催夕宴会 27名
16日(日)	9:00	IOC理事会 天皇陛下、皇太后陛下 IOC総会閉会式				同国技館 3F A-2.A-3 10:00 理事会プレゼンテーション 10分間 15:00 IOC総会閉会式 87名 20:00 IOC会長三催夕宴会 27名
17日(月)	9:00	IOC総会(12:45～写真撮影)				八景園 15:30 IOC会長夫人及び地元IOC理事夫人主催 ティーパーティー 19:20 オリンピック大会開催都府強硬式リハ・サル 20:00 日本政府主催夕宴会(予定)
18日(火)	8:30	IOC総会 立派補都府プレゼンテーション IOC総会 IOC、IF、NOC運営団報告 IOC総会 投票開始 投票結果発表、開催都府との契約閉会式				八景園 3F B 飛天 11:15 ファッションショー及び宴会会
19日(水)	9:00	IOC総会				3F B 9:15 都内バス観光(浅草方面) 三越ショウパビンダグ対炬 20:00 第26回オリンピックピック大会開催都府主催夕宴会 三越ショウパビンダグ対炬
20日(木)	9:00	IOC総会 IOC会長記者会見 オリンピックバックム・アブメント委員会 オリンピックブリタリテイ委員会				3F B 20:00 IOC会長三催夕宴会
21日(金)	9:00	IOC委員及びゲスト飯田発北京へ移動				3F B 20:00 IOC会長三催夕宴会

ICC東京総会時における長野冬季オリンピック招致活動の基本方針

- 1 東京総会の成功が長野招致の基礎となることを認識して活動する
- 2 実施本部と十分連携を取りIOC等が主催する行事においても招致活動が出来るようにする
- 3 9年長野大学の都市のこともあり、落ち着いた活動をする
- 4 IOC委員を長野へ招待する案件の総会であるので、可能な限り長野へ招待する
- 5 ロビー活動は、会長、実行委員長等のほか、委員と親交のある人を中心とする個別担当予定者があたることとする

IOC東京委員会公式歓迎並びにオリンピックバッジ花巻PR計画(案)

4. 行程日程

(1)新高輪プリンスホテル周辺での歓迎

- 5:00 山のぼり客 (長野市 白馬村)
- 5:30 長野市発 (長野市 山の内町)
- 6:00 白馬村発 (長野市 山の内町)

11:30 新高輪プリンスホテル周辺で
歓迎場所へ移動

12:20 IOC委員等歓迎

13:10 都内巡回PR

16:40 IOC委員等歓迎

17:30

17:40 新高輪プリンスホテル出発

22:40 白馬着

23:10 長野着

23:40 山のぼり客

1. 歓迎日

平成2年9月16日(日)

2. 場所

D 東京都港区新高輪プリンスホテル周辺

尚、具体的歓迎場所については、関係方面と調整中。

3. 参加予定人員

○長野冬季オリンピック花巻推進協議会
バス 8台 約320人

(新高輪プリンスホテル周辺の歓迎)

○長野冬季オリンピック花巻推進協議会
バス 3台 約120人

(NHK周辺の歓迎)

○長野冬季オリンピック花巻推進協議会
バス 2台 約 80人

(新高輪プリンスホテル周辺の歓迎)

小計 バス13台 520人

○東京長野県人会連合会及び
長野県関係東京在住企業
300人

(新高輪プリンスホテル周辺の歓迎)

合計 820人

I O C 委員の長野受入れについて

7つの基本原則

- 1 日程は原則として1泊2日とし、その中に、知事及び市長の表敬訪問、オリンピックセンター見学、競技会場地視察等を組み込む。
- 2 受入に当たっては、心のこもったもてなしをするため、できる限り団体で扱うことを避け、多くてもI O C委員夫妻3組程度のグループにするにとどめる。
- 3 アテンドについては、東京のホテルを出てから、東京のホテルに戻るまで、フレンズクラブが当たる。(I O C委員夫妻1組にフレンズクラブ夫妻1組で対応)
- 4 昼食及び夕食については、知事、市長、小林会長、吉田代行をホスト役に、I O C委員夫妻、フレンズクラブ、事務局1名程度で席を設けることとし、なるべく小人数で行うようにする。
- 5 どのI O C委員についても、知事及び市長とは、1回は食事の機会をもてるようにする。
- 6 オリンピックセンター見学及びヘリによる競技会場地視察については、小野参与、塚田参与、丸山参与の協力を得て行う。
- 7 日程にゆとりのある委員については、本人の希望を聞いて、京都または大阪花博見学のスケジュールを入れる。

1991年1月17日～20日長野訪問の件 調査委員会会長
 Mr. ホルスト・ソルンゼン

吉岡様

1990年8月22日の私の手紙以来、又ご連絡いただき光栄です。
 IOC、IF、NOC、合同調査委員会が1991年1月17～20日
 長野を訪問することになりました。

如きは1月17日に到着し、1月20日出発します。
 7泊8日詳細は近日中にご連絡します。

委員会ではフォーラムで構成されています。
 IOC Mr. パール・シムニット Mr. ウォルト・トレガー
 IF Mr. マーク・ホドラー (お一人参加予定)
 NOC Dr. マニツ・マゴビッチ ロビン・ディクソン 教授
 委員会アシスタント Mr. マーティン・ケル・グレンツ

お礼状で、お礼状を五輪の司、オリンピックファミリーの存在
 についてお礼状としてお送りされる所には、私達も必要
 な資料を取らせていただきます。幸いです。

IOCは市手続経費のすべてを極力負担し得るの心
 算で、私達の負担を(余り)を減らしていただく
 ことを感謝します。

さらに、遅くとも訪問の1週間前までに、日程を
 いただきたいと思います。

最後に、8月22日にお送りした質問書への回答を要約
 して10部、ご自身の事務所へ送る所、念のため
 申し上げます。

IOC
 ロビン・グレンツ 1990年10月18日

cc. 日本オリンピック委員会 (Fax 81.3/481.0977)
 IOC X-サービス部 (Fax 81.3/475.1338)
 IOC X-サービス部 (Fax 81.3/481.0977)



CITIUS - ALTIUS - FORTIUS

SENT BY FAX

Comité International Olympique

Château de Vidy
Case postale 355
1001 Lausanne, Suisse

Tél. (4121) 25 32 71
Fax (4121) 24 15 52
Télex 454 024 CIO

Mr. Seichiro YOSHIDA
Acting Chairman, Executive Committee
NAGANO BIDDING COMMITTEE

TOKYO
Japan

Lausanne, 18th October 1990/jmg

Re: Visit to Nagano / 17-20.1.1991

Dear Mr. Yoshida,

Further to my letter of 22nd August 1990, it is with pleasure that I should like to inform you that the Joint IOC/IF/NOC Study and Evaluation Commission will visit Nagano from 17th to 20th January 1991.

We shall arrive on 17th January and depart on 20th January 1991. The exact flight details will be communicated to you shortly.

The Commission is composed as follows:

IOC: Mr. Pal SCHMITT
Mr. Walther TROEGER
IFs: Mr. Marc HODLER
one delegate to be nominated
NOCs: Dr. Heinz JUNGWIRTH
Professor Roger JACKSON

and will be accompanied by Mr. Jean-Michel GUNZ, Assistant to the Commission.

We should be grateful if you would kindly make the necessary reservations for us in the hotel proposed as the official hotel for the Olympic family during the XVIIIth Olympic Winter Games.

The IOC will cover all the Commission's travel expenses to and from the City and, we should therefore appreciate your covering all accommodation costs, excluding incidentals.

Moreover, we would ask you to provide us with a programme for the visit at least a week in advance.

Finally, we would remind you to return to this office 10 copies in English of the completed questionnaire sent to you on 22nd August 1990.

/./.


105188 (本) 17:29 FROM 日本オリンピック委員会 TO 国際オリンピック委員会 PAGE.4
FROM: J.O.C./LAUSANNE CH

COMITÉ INTERNATIONAL OLYMPIQUE

Lausanne, 18th October 1990/jmg
Page 2

Thank you for your kind co-operation in this respect.

Yours sincerely,


General Niels HOLST-SOERENSEN
Chairman
Study and Evaluation Commission

cc. Japanese Olympic Committee (Fax 81.3/481 0977)
Mr. Chiharu IGAYA, IOC member in Japan (Fax 81.3/475 1338)
Mr. Shun-ichiro OKANO, IOC member in Japan (Fax 81.3/481 0977)

取扱注意

TYOUSA
I O C 訪問者招待費明細

区分	項目	金額	内容	容	乗者	備考		
航空運賃	航空運賃	2,437,410	千円 フアーストクラス乗額		1,246,410			
			委員長夫人チケット		1,171,000			
東京出張費	宿泊費	1,308,100	東京滞在宿泊費	1/16	37,680	赤アリ		
			同	1/17	345,852	赤アリ		
			同	1/18	57,983	赤アリ		
			同	1/20	119,246	赤アリ		
			同	1/21	59,742	赤アリ		
			同	1/22	50,687	赤アリ		
			同	1/23	89,198	赤アリ		
			同	1/24	107,204	赤アリ		
			同	1/24	400,508	赤アリ		
			1/16~ 参与特泊費					
			1/16 夕食会(セムダリ)			51,420	赤アリ	
			1/17 歓迎レセプション			1,347,537	赤アリ	
レセプション等	レセプション等	2,756,072			220,670	福田、春日		
					279,478	赤アリ		
					117,420	成田空港グアラ		
					279,764	さくま		
					114,851	陸		
					119,832	赤アリ		
					76,734	赤アリ		
					148,366	赤アリ		
					445,100	JTB		
					1,571,760	日本交通		
					137,600	赤アリ		
					300,000	アボロ商会		
	交通費	交通費	2,154,460	バス借上げ	1/17~21			
				ハイヤー借上げ	委員 1/16~25			
				ハイヤー借上げ	レセプション送迎	1/17、20		
				ハイヤー借上げ	吉田協任副委員長			
雑費	雑費	483,602	花束、フルーツ		123,600	赤アリ		
			成田空港VIPルーム使用料等		197,531	成田空港		
			1/24 高輪テニスコート借料		108,000	高輪テニスカ		
			湯茶等		24,471			
			ホステス謝礼		30,000			
小計		9,139,644						

頁 9 - 1

100 利用金目別長所費明細

区分	項目	金額	内容	乗者	備考
長期関係	JR運賃	千円			
		615,000	1/18 東京～長野 JR切符 調統研一行 1/19 東京～長野 JR切符 カルセ夫人 1/20 長野～東京 JR切符 エグゼクティブ委員ほか 1/20 長野～東京 JR切符 ジョナル委員 1/20 長野～東京 JR切符 ショウト委員ほか 1/23 長野～東京 JR切符 カルセ委員長	240,000 30,000 50,000 50,000 165,000 80,000	
		1,101,270	1/18～19 宿泊費	1,101,270	国際会館
		3,394,730	1/19 へりコブター 借上げ 保険料	3,377,000	SOK
		123,600	長野現地観光バス借上げ	123,600	長野電鉄
		300,000	国際会館会費	300,000	国際会館
長期関係	VTR等作成	2,046,000	志賀高原VTR作成 音楽ふき替え 撮影その他 バス作成費 照明器具借上、操作	1,767,000	SOK
		894,057	1/18 概要説明 同時通訳経費 1/20 新坂アリス 通訳 追加 1名分 屋敷代	220,000	アリス
長期関係	費用弁償	46,680	概要説明者 (統研団体) 費用弁償	764,042	サイマル
		5,586,830	回答書作成 (統研)	24,720	サイマル
長期関係	資料作成	2,433,604	カラコーエビ 資料調本書 写真統計 (風景、施設ベース) 消耗品 (白紙)	15,295	
		328,336	1/18 屋敷会 1/18 夕食会 1/19 屋敷会 1/19 夕食会 1/20 屋敷会 1/22 夕食会 1/19 JCLモーション貸出金	46,680	
長期関係	屋敷2次会	16,782,107	92,917 国際会館 429,845 調刀 122,703 白馬観光開発 731,974 ます茶 283,974 すき亭 472,194 志賀アリス 300,000	4,200,000	電通
			186,560 クワカ加藤 141,776 シロカ加藤	73,200	高友

1000週刊産経新聞関係経費明細表

区分	項目	金額	内容	容量	業者	備考
	土産等	430,000	双眼鏡 34,000×10個 バッグ 6,000×10個 同行委員(埼玉、岡野、林)		340,000 ヤマト 60,000 大丸屋 30,000 すき家 東京	
	アルバム作成	230,800	アルバム 10冊 写真プリント	フィルム	45,000 コーサカ 185,000 コーサカ	
	複製経費等	502,000	ウエブ 5着 ブーツ 9足 スキー靴、ブーツケース (ソレンセン委員長) レンタルスキー		280,000 99,000 スター 90,000 白鷺 33,000 白鷺	
	雑費	1,419,145	携帯電話上げ 通話料 市内視察、志賀、白馬 随行雑費 マーク印刷小機 10,000本 大型マークシール作成 会費納付、経営者補償員食費代 リハーサル屋賃代 事前打合せ1/10 (発行) コーヒー代		174,521 移動通信 50,000 391,400 夏目 381,100 分-タ-マ/ア 354,524 国際会館 61,000 6,600 マド	
小計		2,581,945				
合計		28,513,696				

ソレンセン委員長夫妻 志賀高原滞在関係費 (山ノ内町負担経費)

志賀高原滞在費 1,391,707

レセプション費 1,022,917 (山ノ内町負担経費)

計 2,414,624

取扱い注意

98 立候補都庁調査団日程

1991. 1. 16現在

027-16 N/A
 ユングビルト委員日程

1月16日 (木)	1月18日 (金)	1月19日 (土)	1月20日 (日)
17:25 モントゴメリー委員 成田空港着 此迎え	7:30 ホテル発 (バス)	8:30 ホテル発 (長電サロンバス)	7:50 ホテル発 (銀座り) JR長野駅発 (あさま6号)
18:00 空港発 (ハイヤー)	8:30 JR上野駅発 (あさま5号)	8:40 善光寺着 見学 9:00 同発	8:18 JR上野駅着 (ハイヤー)
20:00 ホテル着	11:18 JR長野駅着 (県議会バス) (県バス)	9:20 泉民文化会館着 10C総会事務相談 Phone(0262)26-0008 9:50 同発	11:06 成田空港着 12:40 ユングビルト委員 成田発 14:00 ユングビルト委員 成田発
20:30 夕食	11:30 ホテル着 12:00 昼食 (ホテル長野国際会館)	10:00 若菜着 MMC・大会運営本部 アイスホッケーA会場 説明 10:10 同発 (ヘリコプター)	11:20 ホテル発 (県議会バス)
宿泊先: 赤坂プリンスホテル Phone(03)3234-1111	13:30 全体総会説明、質疑応答 (平安の間西)	10:40 同発 (ヘリコプター)	11:30 昼食 (すき亭) 副査団 6名 13:00 Phone(0262)34-1123
1月17日 (木)	17:00 東山穂刈着 見学 17:40 同発	10:40 市内・志賀高原上空より視察 10:40 焼山ヘリポート着 (町バス) 10:50 女子滑降・スキーG会場 説明 (女子滑降・県総合会場)	13:38 JR長野駅発 (あさま20号)
16:40 ユングビルト委員、 ロスナー委員 成田空港着 此迎え	18:00 ホテル着	11:20 同発 (町バス) 11:30 焼山ヘリポート発	16:37 JR上野駅着 (バス)
16:50 ソレンセン委員長他 全員成田空港着 此迎え	19:00 夕食会 (レストラン編成) Phone(0262)35-2838	12:10 焼山高原・白馬上空より視察 白馬八方着 シャープ会場説明	17:30 ホテル着 18:20 成田空港着 18:30 夕食(総会) 21:00 シュエミット 委員成田発
18:00 空港発 (バス)	宿泊先: ホテル長野国際会館 Phone(0262)34-1111	12:30 同発 (村マイクローバス) 12:40 八方尾根ゴンドラ八方駅着 12:50 昼食 (鬼平109エルフィン) Phone(0261)72-2258	1/21 (月) 終日 スキー 18:30 川ノ内町長主催レセプション 宿泊: 志賀高原プリンスホテル東館
20:00 ソレンセン委員長他 ホテル着	12:30 夕食会 (レストラン編成) Phone(0262)34-1111	14:20 クロスカントリー会場 説明 バイアスロン会場	1/22 (火) 終日 スキー 18:30 知事招待夕食会 宿泊: 志賀高原プリンスホテル東館
20:30 歓迎夕食会 (赤プリンスハイヤー) モントゴメリー委員 合流	12:30 夕食会 (ます米) Phone(0262)33-8181	14:40 男子滑降・スキーG会場 14:50 八方尾根ゴンドラ八方駅着 15:00 白馬発 (長電サロンバス)	1/23 (水) 9:00 ホテル発 9:00 長野着 昼食 (巴田) 11:30 長野着 昼食 (あさま18号) 13:13 長野駅発 (あさま18号) 16:06 上野駅着 19:00 鎌倉屋町夕食会 宿泊: 赤坂プリンスホテル
宿泊先: 赤坂プリンスホテル	17:00 ホテル着	16:10 安藤着 道路建設状況説明 16:30 同発	1/24 (木) 日光見学 宿泊: 赤坂プリンスホテル
	18:30 歓迎レセプション (平安の間) 19:40 ホテル発	17:00 ホテル着	1/25 (金) 11:30 ソレンセン委員成田発
	20:00 夕食会 (ます米) Phone(0262)33-8181	18:30 歓迎レセプション (平安の間) 19:40 ホテル発	
	宿泊先: ホテル長野国際会館	19:00 夕食会 (ます米) Phone(0262)33-8181	
		16:00 ホテル発 18:00 成田空港着 19:20 モントゴメリー委員成田発	

9101116 144:22
 9101116 144:22

9101116 144:22
 9101116 144:22

9101116 144:22

ソレンセン委員夫妻来長日程案 91. 1. 16

1 来長者 随行者氏名

氏名	氏名	考
ホルスト・ソレンセン夫人		
猪谷夫人		
那須 亨	国際渉外部	

2 日程

時刻	日 程	出 発 者、乗 車 者
16:50	成田空港着	
20:00	赤坂プリンス着	
20:30	歓迎夕食会 赤坂プリンス	

1 8 日

8:30	ソレンセン委員 上野発	ソレンセン夫人 猪谷夫人 那須夫人 羽田夫人 岡崎夫人
12:00	夫人昼食会 (梅田屋)	

1 9 日

14:00	上野発 (あさま21号)	ソレンセン夫人 猪谷夫人 那須 出迎え/副知事 助役 推進課 山口次長 一般市民 知事夫人 市長夫人 吉田夫人
16:48	長野着	配車 / 県 車 : ソレンセン夫人 猪谷夫人 那須 出迎え/総務 ソレンセン委員と合流
17:00	国際会館着	
18:30	歓迎レセプション 夕食 (ます栄)	
20:00	国際会館泊	

2 0 日

19:00	夫人国際会館発	見送り/後込推進課 配車 / 県 車 : ソレンセン夫人 猪谷夫人 那須 出迎え/久世夫妻 山本係長 一般町民 (約10名) ソレンセン夫人 猪谷夫人 久世夫妻
12:00	志賀高原プリンス着 夫人昼食	配車 / 県 車 : ソレンセン委員 猪谷理事 湯本 (角田氏り)
13:00	委員すき亭発	出迎え/町長 一般町民 (約10名) ソレンセン夫妻 猪谷夫妻 久世夫妻
15:00	志賀高原プリンス着 夕食	
19:00	志賀高原プリンス泊	ソレンセン夫妻1525 猪谷夫妻1524 久世夫妻1523

2 1 日

12:30	終日スキー 昼食	ソレンセン夫妻 猪谷夫妻 久世夫妻
17:00	志賀高原プリンス発	配車 / アゴン草 : ソレンセン夫妻 猪谷夫妻 久世夫妻
18:30	山ノ内町長主催 レセプション (よろずや)	
20:30	志賀高原プリンス泊	

2 2 日

12:30	終日スキー 昼食	ソレンセン夫妻 猪谷夫妻 久世夫妻 ソレンセン夫妻 知事夫妻 猪谷夫妻 総長 吉田代行 久世夫妻 (計10人) 控え / 小林部長 長谷川 山本係長 山本秘書 運転手 2名 喫煙 名
18:30	知事招待夕食会 (東館ダイニング)	
	志賀高原プリンス泊	

2 3 日

9:00	志賀高原プリンス発	見送り/久世夫妻 一般町民 (約 200名) 配車 / 県車 1 : ソレンセン夫妻 長谷川 県車 2 : 猪谷夫妻
11:30	長野着 昼食 (巴庄)	ソレンセン夫妻 猪谷夫妻 見送り/知事夫妻 市長夫妻 市議会議長 助役 夏目常任副委員長 吉田局長 一般市民 乗車者/ソレンセン夫妻 猪谷夫妻 長谷川 出迎え/ 航空自衛隊司令官夫妻 市長 出館
13:13	長野発 (あさま24号)	
16:08	上野着	
19:00	猪谷理事宅夕食会 赤坂プリンス泊	

2 4 日

	日光見学 猪谷理事宅夕食会 赤坂プリンス泊	ソレンセン夫妻 猪谷夫妻
--	-----------------------------	--------------

2 5 日

11:30	成田発 (KLM 862)	ソレンセン夫妻 見送り/
-------	---------------	-----------------

IOC、IF、NOC合同調査団現地調査に要する経費概算内訳

1 現地調査日程

平成三年一月十七日(木) 20日(日)
調査団の構成

IOC	5名
IF	1名
NOC	2名
計	8名

3 泉載所要額 5,065,000円 5,000,000

経費の内容

- (1) 1/17 知事主催歓迎夕食会 (東京、赤坂プリンスホテル)
 (本席) @50,000円 × 40人 = 2,000,000円
 (別席) @20,000円 × 20人 = 400,000円
- (2) 1/18 知事主催夕食会 (長野市、ます栄)
 (本席) @30,000円 × 25人 = 750,000円
 (別席) @10,000円 × 15人 = 150,000円
- (3) 1/19 知事主催さよなら夕食会 (長野市、国際会館)
 (本席) @30,000円 × 35人 = 1,050,000円
 (別席) @10,000円 × 15人 = 150,000円
- (4) 1/20 知事主催昼食会 (長野市、すぎ亭)
 (本席) @15,000円 × 25人 = 375,000円
 (別席) @5,000円 × 20人 = 100,000円
- (5) 調査委員に対する知事からの土産 @10,000円 × 9人 = 90,000円

・自然保護団体の反対ということは聞いているし、名古屋のときは十分に了解している。

・メッセー・ジ有難う、秀氏がI O C会長を辞任したのは残念だ、たった8ヶ月であったことは残念だが本人が決めたことであるので受け入れなければならぬが残念である。

・ベオグラードでごめっくり。招致活動の成功を祈っています。
(市長から土産)
・卓上世界時計 ・インビテーションナガノ
・ニューズレター5・6・7

4月25日(水)
ホテルフロントへI O C各委員部屋にギフトを届け
てもらおう依頼。

(ギフト内容)
卓上世界時計・インビテーションナガノ
ニューズレター5・6・7 ・ステアカー
・アレクサンデル・シベルコ (ルーマニア)
・マーク・ホドラー (スイス)
・アレクサンデル・メロッド (ベルギー)
・ダンナー・エリクソン (スウェーデン)
・レイモンド・ガフナー (スイス)
・ピタリ・スミルノフ (ソビエト)
・ケバン・ゴスパー (オーストラリア)
・リチャード・パウソン (カナダ)
・柯紫榮 (中華人民共和国)
・ロバート・ヘルミック (アメリカ)
・金震龍 (大韓民国)

(ムバイ氏) 新幹線が通ると長野までの時間は?
(市長) 東京から1時間15分で長野まで来る
(市長) 9月の東京総会の際夫人と一緒に是非長野へ来てほしい
(ムバイ氏) 9月には長野へ行きたい
(長野招致ビデオ放映)

*市長から土産
・卓上世界時計 ・インビテーションナガノ
・ニューズレター5・6・7 ・風呂敷 ・ステアカー

19:30 サマランチI O C会長の器屋訪問 (猪谷I O C理事同席)
訪問者: 市長・毛産副知事・村田副議長・吉田実美

(会見内容)
副知事: 自然保護団体の反対があったので新しい帯解コースを決定した、良いコースができると思う。
自然保護団体も評価してくれている、県の態勢も固まったので、協力を得て運動を進めていきたい。
市長: 梶氏から東京を出る際に、招致運動には協力をし、9月の東京総会を成功させるため頑張ると言っていた。

お忙しいでしょうが、是非一便長野へ来て欲しい、9月の総会の前か途中に3・4時間あればヘリコプターで見せて頂ける

サマランチ会長
・運動を熱心に行っていることは知っている。
・I O Cメンバーが長野に行くことは大変良いことだ、9月の総会の前に行くことがよい。

3年4月30日

高級白ワインリスト

- 1. モンパシエ
ブルゴニエ地方 辛口、最もよく有り風物好き
- 2. コルトン・シャルマニエ
ブルゴニエ地方 辛口 高貴
- 3. ムルソー・シャルム
ブルゴニエ地方 辛口、よく有り素直
- 4. シェーネ・ヴォリオン
ホルトニエ地方 辛口、香草系の香り
- 5. プワイ・フェーレ・パロン・ド・エルク
ロワール地方 辛口、酸味に富み切味有り
- 6. マルサ・デ・ムリエ
スロイン・リオリ地方 辛口、落着いた味、樽内熟成
- 7. シト・アリエ
ホルトニエ地方 辛口、世界の最高級セロワイン

④ 株式会社ブリンストラル

(3.5.5)

笹屋ホテル 藤田支配人殿

ワイン等の送付について

下記のワイン及びシャンパンを、長野市三輪の(株)高野総本店(TEL32-2306)社長が、5月7日の正午までCKお届けしますので、よろしくお願ひ致します。

記

◎ワイン

- 1. モンパシエ (白) 3本
- 2. コルトン・シャルマニエ (赤) 3 "
- 3. プワイ・フェーレ・パロン・ド・エルク (赤) 3 "
- 4. コンテ・デ・ロスマンテス (赤) 2 "

◎シャンパン 3本

計

14本

果利ンセック推進室 当池
(TEL 35-7450)

長野県教育委員会

平成 3 年 4 月 22 日

文化庁文化財保護部美術工芸課長
渡辺明義 殿

申請者 住所 長野市上松 2-1-37
(TEL)

氏名 吉田 総一郎
(担当者名)

古美術品輸出鑑査証明について (申請)

このことについて下記の輸出品目が、国宝・重要文化財の指定及び重要美術品等認定物件に該当しないことを証明願います。

- 1 仕向地 (受取人の住所・氏名記入)
Château de Vidy, 1007 Lausanne, Suisse フランス・オースワランチ
- 2 輸出の事由
寄贈を受けのため
- 3 輸出港
成田空港

4 輸出品目 (番号は写真番号と同一のものとする)

番号 (登録番号)	名称 (種別)	作者 (銘文)	数量 大きさ (メートル) (反り, 目くぎ穴)
登録第 28541 号	短 刀	(保) 一九九一年春日信川住次平 (英) フランス・オースワランチ閣下	長さ 26.8cm, 反り 0.0cm, 目くぎ穴 1個
以下余白			

3 委保美第 1 の 3 号

上記の輸出品目が国宝・重要文化財の指定及び重要美術品等認定物件に該当しないことを証明する。

平成 3 年 4 月 26 日

文化 庁
文化財保護部美術工芸課長 渡辺明義

(註) 輸出品目が銃砲刀剣類所持等取締法第 4 条の規定により登録されたものである場合は登録証表面の記載事項を記入すること。(この場合の有効期間は発行の日から 30 日以内とすること。)

オリンピック招致に係る指摘事項

11.2.12

(1) 報道: 「招致委員会と契約したスイスのエージェント(スタジオ6)の社長が「成功報酬」の受け取りを認めた。また吉村元招致委員会会長も成功報酬の契約があったことを認めた。」

事実: 招致委員会はスタジオ6とコンサルタント契約を結んでいた。契約の内容は次のとおりであり、集票活動は一切含まれていない。

- ア 業務
 - ・ 98年冬季五輪招致のため、IOC、冬季IF、他の立候補都市等に関する情報収集及び分析
 - ・ プレゼンテーションや長野のPR活動に対する支援
- イ 報酬
 - ・ 300,000スイスフラン
(通常経費及びヨーロッパ内の旅費を含む)
 - ・ 長野が開催都市に決定した場合に追加分として150,000スイスフラン
 - ・ 合計支払額450,000スイスフラン (約4,500万円)

ウ 契約日 90年8月

なお、スタジオ6とのコンサルタント契約については、招致委員会実行委員会において決定された後、弁護士に依頼して契約書を締結したものである。

スタジオ6からの、当初要求金額は60万スイスフラン位であったが、交渉で値切って45万スイスフランまで値下げさせた。

また、開催都市とならなかった場合の負担を軽減するため、「長野が開催都市に決定した場合に追加分として支払う」という条項を付けて契約したものであり、成功報酬的な意味あいのもではない。

(2) 報道
事実 「招致委員会の会計帳簿が不正を隠すために既に焼却処分されている。」
招致委員会の会計については、解散に当たり厳正な監査を受け、総会で決算の認定がなされ適正に処理された。

会計帳簿は、解散後半年ほどは長野市役所の倉庫に保管されていたが、1992年3月末に事務所の明け渡しに伴い、不要なものとして廃棄された。

この件については、市民グループから司法当局に対し告発がなされたが、1995年3月28日、長野地方検察庁は「招致委員会は任意団体であり、解散した時点で帳簿の保管義務もなくなっていることから法律上問題はない。」として不起訴処分の決定を下し、日本の国内法上決着していることがらである。

県が交付金を交付する時点で「5年間保存」の条件を付したが、これは招致実現に不確定要素があることから、補助金の例に準じて暫定的に付したもので、招致が実現し解散した時点で保存義務も消滅している。

(3) 報道： 「招致委員会からIOC委員にルールを超えて高額な贈り物が渡された。」

事実： IOC委員が長野を訪問した時には、長野の産業や伝統文化を知っていた
ため、IOCの規定に従って常識的な範囲内で品物を贈呈した。
ただ、招致委員会とは関係ない民間の人が善意で自ら製作した美術品を直接贈呈した事例はある。

各国を訪問した招致活動においてもIOC委員にプレゼントを渡したが、これは招致委員会が製作したグッズが中心であり、IOCの規定の範囲内のものであった。

なお、招致委員会から委員への贈り物は、委員の要求によるものでなく、招致委員会の自主的な判断によってなされたものである。

(はとぐるま(3,000円)、ゴルフ付キルガ(2,000円)、ネクタイ(5,000円)、
スカーフ(5,000円)、ネクタイピン(2,000円)、腕時計(10,000円)、
双眼鏡(10,000円)等

・秋葉原等に案内したこともあるが、買物は委員本人が支払った。

(4) 報道： 「アフリカなどのIOC委員の要請でスポーツ用具などを提供した。」

事実： サッカーボール、シューズ、柔道着を贈ったことがあるが、これはいくつ
かの国でスポーツ用具が不足していることから、競技連盟やメーカーなど民
間の協力を得て国際親善として行ったもので、委員個人に対する贈り物では
ない。

・ボール、シューズ(ミズリ製)JOCの岩田氏経由でアフリカへ寄贈
した。

・柔道着(古着)はラミネ・ケイタ委員を通じ300着マリ共和国へ寄
贈した。

なお、全日本柔道連盟及びJOCでは、甲斐六段を派遣し普及促進を
図った。

(5) 報道： 「金雲龍委員の娘が招致決定前に長野でコンサートを開催した。」

事実： 平成3.5.16ギム・ヘジョンピアノリサイタルが開催されたことは事
実であるが、文化団体や国際交流団体が実施する文化芸術プログラムの一環
として行われたものである。

コンサートは有料で、招致委員会は経費負担をしていない。

(6) 報道： 「IOC会長に「お召し列車」、チャーター料90万円」

事実： 通常の特急列車の一両を借り上げることも検討したが、JRなどの関係者
と相談する中で、経費面でほとんど差がなく、一般利用客への支障等も考慮
して、団体専用臨時列車を手配した。

(参考資料：別紙)

- (7) 報道：「ファーストクラスの往復航空賃及び滞在費は招致委員会が負担し、1人当たり2~3百万円であった。」
 事実：IOCからの指示の中で、委員が長野を訪れる場合、その旅費・宿泊費は長野側で負担することになっていた。
 1/26の猪谷理事の記者会見でも「ファーストクラスについてはIOCの規定でそうになっており、そのことで色々言うのは的はずれだ」と言っている。
- ・長野訪問委員62人(招待者42名、東京総会時18名、調査団2名)
 参考：ヨーロッパ往復 航空運賃120万円程度/1人
- ・昼食：すき亭、鯛萬、巴庄、ます栄 等 料金 1万円程度/1人
 ・夕食：すき亭、巴庄、ます栄 等
 料金 1万5千円~2万5千円程度/1人
- ・夕食・宿泊：国際会館、犀北館、藤井荘、仙寿閣、笹屋 等
 料金 1泊2食 2万円~3万円程度/1人
- ・宿泊のみ：同上ホテル旅館 料金 1万5千円程度/1人
 : 東京ホテル(赤プリ等) 料金 2万円~3万円程度/1人
- ・ヘリコプター(民間) 3.0万円程度/1時間=1回
- (8) 報道：「バーミンガムにおける郊外の豪邸を借りIOC委員を接待」
 事実：招致報告書にも記載されているとおりオープンな形で、日本文化を紹介するために行ったものであり、特にIOCから注意を受けたこともなかった。
 この施設(ハイベリーハウス)は、バーミンガム市が所有する一般的な貸出し施設である。
 (施設を斡旋したのは、イギリスのオリンピック委員会(BOC)が中心) となった、IOC総会組織委員会であった。
- (9) 報道：「IOC東京総会に便乗して、三菱開東閣を借りIOC委員を接待した。」
 事実：招致報告書にも記載されているとおりオープンな形で、日本文化を紹介するためにパーティーを2日間開催したものであり、特にIOCから注意を受けたこともなかった。
- (10) 報道：「芸者を頻繁に呼び接待した。」
 事実：原則として芸者を入れることはなかった。入れたとしても極限られた回数で、日本文化の紹介の面で行ったと思う。
- (11) 報道：「戸倉上山田温泉の高級旅館で接待した。」
 事実：長野を理解してもらえるよう温泉地を活用した。

- (12) 報道: 「東京では1泊数十万円のスイートルームに宿泊した。」
 事実: 東京総会出席のIOC委員は基本的にはIOC負担だった。
- (13) 報道: 「東京総会時に委員や家族らを丸抱えで京都見物などを実施した。」
 事実: 東京総会時には18人のIOC委員とその家族が長野を訪れている。東京から長野までの旅費と長野の滞在費は招致委員会で負担した。中には京都方面へ回る委員もいたが丸抱えということではなかった。
- (14) 報道: 「日本刃がサマランチ会長に贈られた。」
 「高価な日本画がサマランチ会長に贈られた。」
 事実: 刃匠(高橋次平、平成8年8月亡 70才)が平成3年5月7日戸倉温泉のホテル「笹屋」で直接サマランチ会長に贈ったものである。
 所有者・輸出監査証明の法令上の手続きが吉田総一郎氏の名義で行われているが、これは便宜上名前を借りて行われたものである。
 日本画は白鳥映雪画伯が寄贈したものであり、その他日本画のコピーを20枚程度寄贈した。
- (15) 報道: 「在外公館を使って、航空券を手渡していた。」
 事実: 航空券は招致委員会が手配して、現地の旅行代理店や航空会社の窓口を通じ事前に相手方へ届けていたのがほとんどである。
- (16) 報道: 「招致委員会の焼却処分した会計帳簿の内容の一部がメモに残っている。毎日新聞記事では、招致委員会幹部がメモを提供したと言われている。」
 事実: メモが正しいものかどうかは分からない。
 解散総会時に決算書を提出し吉田事務局長が
 招致報告書(104P)にあるとおり、
 例えば、渉外活動費総額〇〇〇円、うち海外招致活動、国内招致活動、IOC東京総会、IOCバーミンガム総会等・・・細目について数字を読み上げて説明している。
 解散総会には多勢の人が出席していたので、中にはメモを取って記録していた人もいたかも知れない。

(17) 海外でのIOC委員訪問回数

・ 加賀美特別顧問	44か国(地域)	46委員
・ 吉田常任実行副委員長	16か国(地域)	20委員
・ 塚田副会長	5か国(地域)	5委員
・ 猪谷IOC理事	5か国(地域)	5委員
・ 清川名誉委員	3か国(地域)	4委員
・ 吉村会長	2か国(地域)	2委員

延 75か国(地域) 82委員

(一部重複している国・委員がある)

サマランチ会長訪問時の臨時列車について

招致委員会では、サマランチ会長の長野訪問に合わせて、以下の理由により団体専用臨時列車を手配した。

- 1 通常の列車のグリーン車を専用すると、その列車を使おうとする乗客が乗車できず、また、停車駅ホームでの市民の歓迎活動等が予想され、一般の利用客に多大な迷惑を与えることとなる。
- 2 通常の列車利用では、2～3回の乗り換えが必要となるのに対し、長野まで直通で来ることができれば、利便性が高い。
- 3 サマランチ会長は多忙であり、初めて訪れる長野について概要を説明するには、移動の列車内を活用することが、時間的にも効果的である。
- 4 会長と同行する関係者が多数に上るため、JRからもグリーン車を専用するよりも、団体専用臨時列車の方が経済的であるとの助言もあった。
- 5 IOC会長は、国際儀礼上相応の警備を要することとされていた。

なお、この団体専用臨時列車の対応はサマランチ会長から要請されたものではなく、招致委員会側が自ら計画したものであり、招致報告書にも明確に記載されているし、多くの県民を始め関係者が目撃をしており、陰に隠れて実施されたものではない。

(参考)

- 1 舞浜⇒長野⇒松本 片道運賃 (グリーン) 12,350円
 " " (グリーンなし) 8,210円
- 2 通常列車運賃

・ グリーン車 (定員33名1車両確保)	407,550円
・ 普通車 (定員65名1車両確保)	533,650円
計	<u>941,200円</u>
- 3 団体専用臨時列車 3両編成 900,000円 (業者確認)
 (定員133名)
- 4 行程
 - ・ 平成3年5月7日 舞浜→大宮→高崎→軽井沢→長野
 - ・ 5月8日 長野→松本

吉田総一郎元常任実行副委員長の聴取内容

日 時：平成 11 年 3 月 9 日(火) 11 時から 13 時 30 分

場 所：東京興業株式会社 会議室

出席者：八木隆長、上田、速星、小原、竹田、岡崎の各委員

参考者：川村次長他

八木：本日この機会を設けたのは、長新に行った折に、吉田さんに話を聞いたが、報道関係者に「10 分の話しが面白い」と言われたことに基づいている、と説明。
吉田：吉田さんが海外へ出かけた総数は 70 回(長新からの報告によると)、新費に関してはすべて旅行会社の手配、現地でのお支払いに関してはクレジットカード、お土産等はグッズ程度を持ち歩かず前にお答えになったが、それ以後に過剰な接待と、委員に対する働きかけも相当なものがあつたのではないかと、吉田さんに同行した人数についても過剰ではなかったかと書かれている点など、プロシエントのメンバーとして確認、告知したいので、吉田さんの知っている限りで良いので IOC 委員へに対する経過についてお知らせ願いたい、と、提案。

正式に何人の IOC 委員に会われたか？

吉田：全ての IOC 委員にあつた。当時は 91 名であつた。

八木：出かける時は関係者を連れていったのか、全ての IOC 委員に対してアクションを返したと思うが、過剰接待があつたか？

吉田：食品を差し上げたことはなかつた。過剰な接待はなかつた。

八木：一番多く会つた IOC 委員は誰か？

吉田：一番多く会つたのはサマランチ会東である。言動的な付き合いもききめて、ローザンブへ行つた時には必ず会つた。

八木：IOC 委員の方々が長野のために尽くしてくれていることに対して特にこういう委員にこういう挨拶をしたという記憶があるか？

吉田：特に際立ってはいない。

速星：新聞報道では面談の後、10 分の 1 面談しか話してはいないと語っているが、後の 10 分は 9 を話して欲しい、それは量の問題か、質の問題か、それとも誠心か？

吉田：時間が限られた中で話したことが 10 分の 1 であつたこと、事前に渡された資料に私

が訪問した国が 10 カ国と書いてあつたのでこの資料は出さないといいると悩んだ事など、質、量とも言い尽くしていない。

速星：貴方はこの資料は正確と認めるか？

吉田：正確だと思う。私の記憶と、古い事務局長の人からも聞き出して作った。

速星：例えば、アイスホッケーの会費のアオスタに私は出席したが、貴方に会ってはい

アイスホッケーの事務局長も会っていないというが資料には行ったことになつてい

るが、本番に行かれたのか？

吉田：私はプレゼンテーションをした記憶がある。

速星：アイスホッケーの関係者は全っていないといっている。貴方は招致活動をどのように思

っているのか？

吉田：IF の会長、副会長に会うこと、職員が先乗りして資料を配り、長野の説明をすること等を招致活動と想っている。

速星：記憶を呼び起こして欲しいのだが、この時イタリアではサッカーのワールドカップの発

中であつた。長野アイスホッケーの菅原さんと職員がきいていたが、貴方には会わなかつ

た。他のところへ行つてみたのか？

吉田：もう一度確認します。

竹田：短い滞在期間中に 70 回も海外へ出られて大変な苦労があつたと思う。発屋の上面か

らスゴートツ振興が連れてくるので活動が欲しいということはなかつたのか？

吉田：その質問は前回もいただいたが、直接または間接的にも聞いたことはなかつた。

竹田：なかつたのか？

吉田：まもなくなかつた。もしあつたとすればアフリカ担当の西原茂夫氏がまわられた所では

ないかとと思う。

八木：日本はお土産を持っていくのが常であるが、グッズ以外はないのか？

吉田：私の考えだが面白い物を差し上げるのは誤りがなくいいやな感じがする。個人的には

文房の運んだ生け花の革やカレンダーなどとグッズをもらった。ギフトに対する思

の考え方は招致委員会の中で違つていたと思う。

八木：何人の職員を連れていったのか？

吉田：必ず同じ人が付いていった。原は長野内さん、市は湯原さんである。

八木：ブラジル、オーストラリア、イタリアの時も同じか？

吉田：チンブリア氏は那須さんで、八十二銀行からの出向職員である。自衛隊で知事、

市至が行く時には那須を含めて 10-15 人連れてこられた。支社は彼らが誘ませ、ギ

フトを持って来てくれた。

代行という役職から知るべき立場にあったと世間の人は思っているが、私の総長代行と書く立場は後所的な考えであつたので、招致委員会に行くことも少なく、差障りもまわつてこなかつた。殊に処分については知るところではなかつた。知っていれば二人は事にはならなかつた。私が知つていて不都合があるのではなかつたのか？

外である。

小粥: 長野招致活動の途中、ダイドラインが出てきたが、これによって建いが出てきたか？

吉田: 90年10月では招致活動も残り半分で実質的には無意味で効果的ではなかつた。長野の招致活動はその問題に拡張するものではなかつた。

小粥: 他の都市が加勢意味であつたことを認められると思うが、長野だけが加勢しなかつたのか？

吉田: 長野も加勢した。総は私の知らない所で行われていた。知らないことたくさんあつた。

上田: 刃も誰も知らなかつたのか？

吉田: あとから知つた。

上田: あとから刃の件を知つたのか？

吉田: 当時は全く知らなかつた。

上田: 輸出証明書が貴方の名前になっているのを知っていたか？

吉田: その事を知りて教育委員会に行つて見せてもらつたが、私が書いたものではないので、誰が作成したかを特定できなかった。公文書機で訴えることもできるが近い所ではなかつた。

上田: 刃の件についてはIOCへ購つたと先日報告したが、刃はIOCに届いていないと思つたか？

吉田: IOCに行つていないと思つた。

上田: 日本から出ていないと思つたか？

吉田: 輸出証明書があることからスイスへは行つていないと思つたが、スイスに入つてからどうなつていのか確認できない。この事についてまうと知らない。あつた物が書けるか？

上田: 総についてはいか？

吉田: 総については92か93年度の選刊誌に出たのでその時知つたが、刃のことは知らなかつた。

八木: 刃匠の高橋さんは亡くなられているのか？

吉田: 亡くなられています。先日の新聞に掲載されていた吉入さんのお父さんの弟子が高橋さんで、高橋さんの弟子が吉入さんです。刀匠としての高橋さんは一代だったと思つた。

上田: 奥さん同士の付き合いはあつたのか？

吉田: ポケットマネーの範囲内でしたと思つた。

上田: 奥さんのお小遣いの範囲は？

吉田: はい、基本的には招致委員会をサポートしてくれた。が、実際には要求できないものもあつた。自分達のためになるという思ひで。

上田: そういふ事だと、失礼だが個人的な支出はどのぐらいの額か？

吉田: 大変申し訳ないが申し上げられない。大変な額である。子どもがまだ小学生なので預けたり、母親に預けたり、家内を連れていたりして、大変な額が嵩んだ。びっくりされるような額である。

上田: 会われたIOC委員の中で誰がサポートしてもらえたと感じた数はどのぐらいか？

吉田: 最近48は行つたと感じた。

上田: IOC委員に個人的に会われたり、会離に行かれていたが、個人的に会うほうがインパクトが強いのか？

吉田: 会議の時のほうが先人同様に話しやすく、近いと感じる。ファミリーと感じたほうが強い印象を与える。

上田: ファミリーであるというほうが効果的であつたのか？

吉田: ファミリーで会つたより家族で会つたほうが効果的であつた。家族というのは子息、お孫様とか。例えば、バーンシエ委員には8人のお孫様がいらして一番下のお孫さんとアニスの試合をしたことなど効果的であつたと思つた。家族全体と付き合うことが大切と思つた。他のIOC委員も同様である。

上田: それ以外の時は費用は長野が持つたのか？

吉田: 原則的には長野です。

上田: アニス、ゴルフの費用もか？

吉田: 私はゴルフをしなかつた。アニスをやる時は強地でたいは向こうが用意してくれた。食事も呼ばれることが多かつたので、費用を支払ふ事はなかつた。

小粥: 関係断絶がなくなつてしまつた現在、この資料の70回行かれたことに付いては古い人の記憶と、個人のメモでこれが出来上がったのか？

吉田: ダイアリーと招致記録で作つた。

小粥: 行動は記憶を呼び戻すことができるが、使つた経費については職員からある程度得られると考へているか？

吉田: この旅行に行くからかかつたか勘定にないと思つた。詳細については難しいと思つた。私から、全社帳簿についてですが、処分されたことを後から聞かされた。私の後長